

もみじ

Vol. 18 / 秋号



県立広島病院

〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号
TEL(082)254-1818(代) FAX(082)253-8274
ホームページ <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>

(財)日本医療機能評価機構認定病院 認定第JC175号一般病院



理念 県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

基本方針

1. 患者様の権利を尊重し、真心のこもった医療を実践します。
2. 医療事故ゼロを目標として、患者様の安全対策に努めます。
3. 県の基幹病院として、21世紀の高度・先進医療を推進します。
4. 各医療機関と連携を強め、地域医療の充実に貢献します。
5. 健全な病院運営に努め、良質な医療サービスを提供します。

■「新型インフルエンザ第2波に備えて」

平成21年4月メキシコでブタインフルエンザ(H1N1)がヒトに感染したことが報告されると瞬く間に世界中に拡がり、WHOにより新型インフルエンザと認定され、6月12日にはパンデミック(世界的大流行)の宣言も発せられました。

日本においては5月中旬に、神戸で初の感染例が報告されて以来、学生を中心に近畿地区から全国に拡がりました。広島では夏休みが明けて、中学生や高校生の間で感染が拡大し蔓延している状況です。季節性インフルエンザと同様に高熱、全身倦怠感、咳、咽頭痛、筋肉痛などの症状がでますが、1~2割の人に下痢、嘔吐などが出現することが特徴です。健康な人は約1週間で治りますが、妊婦や基礎疾患(心肺疾患、糖尿病、慢性腎不全、免疫低下者)をもつ人が感染すると重症化することもあります。



呼吸器内科・リウマチ科主任部長
土井 正男

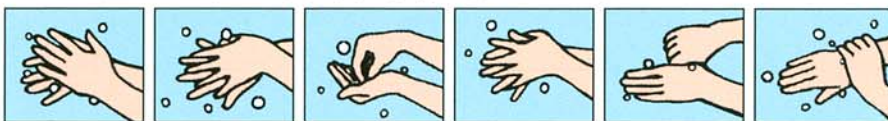
万一感染しても、抗インフルエンザ薬の早期投与でインフルエンザ肺炎などによる重症化を軽減できることが分かっています。抗インフルエンザ薬の備蓄は4000万人分以上ありますので、かかったかなと思ったら、最寄りの医療機関で診察や迅速抗原検査を受けてください。6月19日から新型インフルエンザは一般の医療機関で診療が可能となりました。受診に際しては、**受診することを医療機関に電話で連絡し、あらかじめ時間と場所を決め、マスク着用をお願いします。**幸い日本での死亡率は諸外国にくらべ非常に低く、9月初旬までの推計感染者は15万人ですが死亡者は10名くらいです。

最後に、感染拡大と流行のピークを抑えるためには、人混みでのマスク着用、手洗いやうがいの習慣、咳エチケットの厳守など一人一人の感染対策に関する理解と実践が重要と考えます。

👉 予防のポイント

●正しい手洗い・うがいを徹底しましょう!

・こすり洗いは30秒を目安に次の手順で洗いましょう。



- ①手の平を合わせよくこする。
- ②手の甲を伸ばすようにこする。
- ③指先、爪の間を入念にこする。
- ④指の間を十分に洗う。
- ⑤親指と手の平をねじり洗う。
- ⑥手首を忘れずに洗う。

・うがいは、次の手順で行いましょう。

- ①1回目は口の中をすすぐ。(まず口の中をきれいにする。)
- ②2回目・3回目はその奥で15秒を目安にガラガラうがい。



●咳エチケットを習慣にしましょう!

- ・咳やくしゃみが出たらマスクをしましょう!
- ・咳やくしゃみの時は、他の人から顔をそむけて、できる限り2メートルくらい離れましょう!
- ・咳やくしゃみの時は、マスクがない場合はティッシュなどで口と鼻を押さえましょう!
- ・使用後のマスクや鼻水・たんなどを含むティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう!



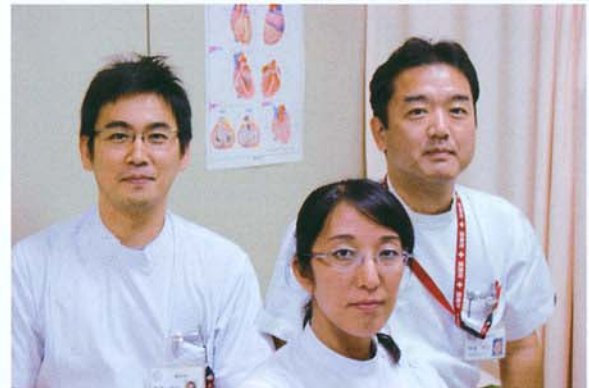
🎀 (1) 乳腺精密検査外来

日本の乳がん検診の基本は2年に1回のマンモグラフィ検診です。この検診で約10%の方が異常を指摘され、精密検査が必要となります。精密検査施設では、マンモグラフィに加え超音波検査、MRIなどを行い、必要があればしこりの細胞や組織を採取する検査も行います。

県立広島病院では、今年6月から乳腺精密検査外来を開設し、精密検査目的の方を対象に診察を行っています。超音波検査やマンモグラフィ読影の認定を受けた医師・技師をこの外来に集約し、できるだけ短時間で効率よく検査を進めるようにしています。

当外来は、これらの認定資格をもった3名の外来医師が担当し、精度の高い診断を行っています。検診で異常を指摘されたご友人やご家族で乳房のしこりなどでお悩みの方がいましたら、ご紹介ください。診察は毎週水曜日（午前）に一般外科外来（B受付）で行っていますので、一次検診の結果を持って受診してください。

乳腺精密検査外来担当医師

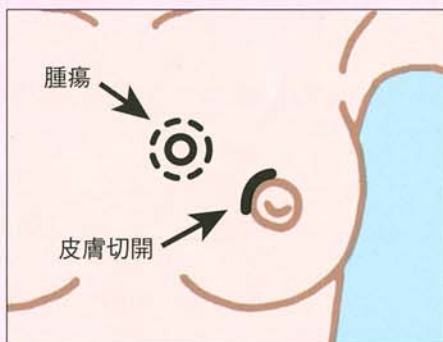


秋本悦志 医師 野間 翠 医師 角舎学行 医師

🎀 (2) 内視鏡手術

手術方法については、患者様と納得いくまで話し合い、できるだけ傷を小さく目立たないように手術をすることを心がけています。そのために県内でも限られた病院でしか行われていない内視鏡補助下手術を積極的に行っています。昨年は、87例の乳がん手術症例中、41例の乳がんの内視鏡補助下手術を行いました。この手術の利点は、通常の乳房温存術を、傷が目立たない腋の下や乳輪縁などから行うことができることです。図のように、腫瘍が左乳房のかなり内側にある場合、通常の乳房温存術では腫瘍の真上の皮膚を切開しますが、内視鏡補助下手術では、図のように乳輪縁から手術ができます。術後は傷もわからなくなります。

■内視鏡補助下手術を行った乳癌症例



※手術の痕は目立ちません。



手術の様子

🎀 (3) がんサロン活動

当院では、今年3月から「がんサロン」を充実させ、毎月開催しています。奇数月は前半が学習会で後半が交流会、偶数月は交流会となっており、患者様とご家族、治療担当医師が自由にコミュニケーションできる場になっています。このサロンは、乳がんに限らず全てのがん患者様を対象にしています。患者様に少しでも安心して治療を受けていただけるように、乳腺外科医師も毎月参加しています。

● 病院食のご案内 ●

管理栄養士による栄養管理を行い、安全で新鮮な食材を選択し、衛生管理に配慮しながら心をこめた食事の提供を行っています。

入院患者様にも季節を感じていただけるように季節を盛り込んだメニューにメッセージカードをそえた行事食を月1回程度提供しております。

また、食事がすすまない患者様には管理栄養士がベッドサイドに伺って食事の相談をさせていただき、できる限りの対応をさせていただいております。

これからもスタッフ一同、皆様においしい食事を召し上がっていただけるようがんばってまいります。



ご出産された方にお祝膳をプレゼントしております。

2種類のお祝膳のどちらかを召し上がっていただいております。



和食膳

散し寿司
祝肴包焼
彩真焼銀あんかけ
ごままんじゅう
蓮根籠もり
穴子砵巻き

洋食膳

ロールパン・クロワッサン
スモークサーモンのサワークリーム
地中海風彩りマリネ
トマトの寒天よせ
パンプキンスープ
ハーブ鶏のペペロンチーノ
ローストビーフ



安心して出産をしていただくため、出産育児一時金の制度が変わりました

平成21年10月1日以降にご出産される方について、出産育児一時金の支給額と支給方法が次のとおり変わりました。

① 支給額が変わりました

これまでの38万円から4万円引き上げられ、**42万円が支給**されます。

② 支給方法が変わりました

病院から請求される出産費用については、上記金額の範囲内で、医療保険者から病院に出産育児一時金を直接充てることができる**直接支払制度**が導入され、事前に多額の現金を準備する必要がなくなります。

③ 直接支払制度の手続き

制度利用の意思を書面で確認
※
・病院へ合意書を提出
※合意書は予約時に交付します。

利用する

出産費用

42万円超

超過額を窓口でお支払いいただきます。

42万円未満

差額は医療保険者に請求してください。

利用しない

出産費用の全額について、退院時に現金等でお支払いいただきます。

出産育児一時金直接支払制度に関するお問い合わせ先

担当部署：医事課 医事係（担当：迫本、舩広） 電話：(082) 254-1818（内線4217）

● ボランティア募集 ●



地域医療支援をあなたの力で！

24時間365日地域医療を守る県立広島病院では、病院を支援して下さるボランティアの皆さんを募集しています。

ボランティアの内容は所属により異なりますので、内容をご確認の上、応募の際にどのボランティアをご希望かお知らせください。

内 容	活動時間	問合せ先
外来 中央外来ホールを中心とした活動です。 ① 診療申し込みの説明や補助 ② 来院者への院内案内 ③ 来院・帰院時の介助・荷物運び など	月～金 (休日を除く) 9:30～12:00	地域連携科 原田(はらだ) 井出口(いでぐち) 082-256-3562
一般病棟 病棟でのサービス業務です。 ① 家族からの援助が受けられない方の洗濯や買い物等 ② 入院中の子どもの遊び・本の読み聞かせ等の保育 ③ 図書・情報提供サービス など	月～金 (休日を除く) 9:30～12:00 13:00～15:00	緩和ケア支援室 藤原(ふじわら) 082-252-6262
緩和ケア支援室・緩和ケア病棟での活動です。 ① 情報収集室(受付・本の貸し出し・整理、利用案内など) ② デイホスピス・月1回のイベント(アロママッサージ、創作活動、音楽演奏など) ③ ラウンジなどの飾りつけや鉢植え等の手入れ ④ 病棟でのティーサービス など ※ボランティア講座の受講が必要です。	① 月～金 9:45～16:00 ②、③ 火及び金 9:45～16:00 ④ 木曜日 14:30～16:00 (全て休日を除く)	緩和ケア支援室 藤原(ふじわら) 082-252-6262

活動時間は、ボランティアさんのご都合に合わせて変更できます。

意見箱

Q 外来の洋式トイレが少ないので増やしてほしい。

A 外来のトイレについては、和式から洋式に改修し、洋式トイレの数を増やしました。

※いつも当院に対する貴重なご意見をいただきありがとうございます。患者様のご意見等に対する取り組み内容等については、中央棟1階の総合相談窓口に掲示しております。

紹介状持参のお願い

初診で来院される際には、「紹介状」をご持参いただきますようお願いいたします。

・当院では、お近くのかかりつけ医の先生と連携し、専門的な検査や入院治療を行い、皆様のお役に立ちたいと考えております。

「紹介状」は、かかりつけ医と当院とを連携するものです。 事前にかかりつけ医からFAXによって診療予約をすることができます。

・紹介患者専用の受付を設置しております。 **お問い合わせ**：地域連携科(病診連携担当) TEL(082)252-6241 FAX(082)252-6240

診療科案内

総合診療科	一般外科	小児感覚器科	歯科・口腔外科
消化器内科	胸部外科	小児科	リハビリテーション科
呼吸器内科・リウマチ科	整形外科	小児外科	放射線科
内視鏡科	脳神経外科	小児腎臓科	麻酔集中治療科
糖尿病・内分泌内科	皮膚科	産科	(ペインクリニック)
腎臓内科	泌尿器科	婦人科	緩和ケア科
循環器内科	眼科	新生児科	透析・移植外科
神経内科	耳鼻いんこう科	生殖医療科	救命集中治療科
精神神経科	頭頸部外科		臨床腫瘍科

受外来診療時間

午前8時30分～午前11時00分

※午後の診療は診療科によって異なります。受付でおたずねください。

休日

土曜・日曜・祝祭日

年末年始 (12/29～1/3)



お願い：駐車場は午前中大変混みます。できるだけ公共交通機関をご利用ください。